

書式第 1 号(1) (歳入徴収官事務規程別紙第 4 号書式)

第一片

(注意) 延滞金を支払わなければならない場合において、領収しました金額が元本及び支払われるべき延滞金の合計額に不足するときは、領収しました金額を延滞金、元本(元本、延滞金)の順に充当します。

納付告知書・領収証書 (国庫金) (番号)

右のとおり納付して下さい。なお、納付期限内に完納されなかったときは、右の延滞金の計算方法により延滞金額を計算して、その額及び合計額を該当欄に記入して納付して下さい。 年 月 日 (歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任歳入徴収官又は分任歳入徴収官代理官職氏名 印) (住所) (氏 名) 納付期限 納付場所 殿	納付目的 延滞金の計算方法 (年 度)	下記の合計額を領収しました。 (領収年月日、領収者名及び領収印) 又は (領収者名の表示のある領収日付印)
	(会 計) (主 管 又 は 所 管) (取 扱 庁 名 (番 号))	
	元 本 (科目又は符号)	百 十 万 千 百 十 円
	延 滞 金 (科目又は符号)	
	合 計 額	
◎この納入告知書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。		翌年度 月1日以降現年度歳入組入

第二片

領 収 控 (国庫金) (告) (番号)

納付期限 納付場所 殿	納付目的 延滞金の計算方法 (年 度)	下記の合計額を領収しました。 (領収年月日、領収者名及び領収印) 又は (領収者名の表示のある領収日付印)
	(会 計) (主 管 又 は 所 管) (取 扱 庁 名 (番 号))	
	元 本 (科目又は符号)	百 十 万 千 百 十 円
	延 滞 金 (科目又は符号)	
	合 計 額	
		翌年度 月1日以降現年度歳入組入

第三片

領 収 済 通 知 (報告) 書 (国庫金) (番号)

あて先 (歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任歳入徴収官又は分任歳入徴収官代理官職氏名並びに所属庁名及び所在地) (住所) (氏 名) 納付期限 納付場所 殿	納付目的 延滞金の計算方法 (年 度)	下記の合計額を領収しました。 (領収年月日、領収者名及び領収印) 又は (領収者名の表示のある領収日付印)
	(会 計) (主 管 又 は 所 管) (取 扱 庁 名 (番 号))	
	元 本 (科目又は符号)	百 十 万 千 百 十 円
	延 滞 金 (科目又は符号)	
	合 計 額	
		翌年度 月1日以降現年度歳入組入

書式第 1 号(2) 削除